

2020年東京オリ・パラに向けて 千代田区が民間トイレと協定

Toilet Topics 

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、千代田区では、競技会場周辺で来訪者が気軽に利用できるトイレを確保するため、区内の民間事業者のトイレを一般解放する協定を結びました。協定を結んだトイレは区内のオイスビルやコンビニなど19事業者、150箇所のトイレ。「ちよだ安心トイレ」として、東京オリンピック・パラリンピック終了までの間、一般開放されます。



千代田区と言えば、平成18年に都内の自治体が設置する初の有料公衆トイレ「オアシス@akiba」を設置したことで話題になったほど、トイレに対して先進的な取り組みをしている街です。東京オリンピック・パラリンピックでは、千代田区内にある日本武道館(柔道、空手)、東京国際フォーラム(ウエイトリフティング、パワーリフティング)、皇居外苑(競歩)で競技が行われるうえ、マラソンコースにも含まれているため、国内外問わず多くの来訪者が見込まれます。

利用できるトイレの入り口には周知用のパネルやステッカーが貼られ、掲示さ

れたQRコードからは区のホームページ内のトイレの場所や設備を案内したページにアクセスできる予定です。

一方、大会期間中には約92万人の来日観光客が見込まれることから、大会開催地や観光地周辺の和式トイレを洋式化することが急務となっています。国や地方自治体でも、公共トイレの洋式化には大幅に予算を計上して設置費の補助を行っています。

いよいよ来年に控えた東京五輪大会ですが、トイレの面でも準備が整ってきていると言えるでしょう。

トイレ診断士
芸人

第11回

佐藤満春のトイレな話

シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

「第一回トイレフェスティバル〜トイレ、佐藤満春〜」が開催されました!

少し前の話になりますが、昨年11月17日、トイレを楽しむイベント「第一回トイレフェスティバル〜トイレ、佐藤満春〜」を開催することができました。2部構成で、1部はTOTO、LIXIL、パナソニックと3社にご登場いただき、各社の新機種や現在のトイレ事情について学びました。各社の担当者が正式な形で揃うのはとても珍しいことで、貴重な機会を作ることができました。

第2部ではトイレバンド「サトミツ&ザトイレッツ」のバンド演奏だけではなく、スペシャル

ゲストとして事務所の先輩のはなわさん、声優の中村繪里子さんにご登場いただきました。

それぞれとコラボさせていただく時間は非常に貴重で「トイレをエンタメにする」という大きな目的を果たせたかと思います。トイレはどうしてもネガティブな印象が強く、余計にトイレについて考える機会を失っているように思います。トイレに魅了された1人の人間として、来年以降も挑戦するライブにしていこうと思います。みなさんもぜひ、遊びに来てください!



佐藤 満春 (さとう みつはる)
お笑いコンビどきどきキャンプの片割れ。趣味のトイレ好きが広がりをみせ、2011年11月電子書籍「佐藤満春のトイレ公論」を発表。自らもトイレ掃除に参加するなど自他共に認めるトイレ好きである。名誉トイレ診断士



トイレ
歳時記
2月

年に1回は換気扇の点検と清掃を

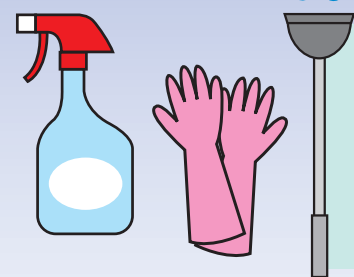
トイレについている換気扇、ちゃんと機能していますか? 「音はしているけれども空気を吸っていない」ということも結構多いもの。簡単に調べるには、トイレトペーパーを少し切り取って換気扇にあててみてください。落ちずに換気扇グリルに張り付いていれば空気が吸えている目安になります。

編集
後記

前号では感染症について特集しましたが、近隣の幼稚園や小学校でも、インフルエンザの流行で学級閉鎖という話も最近多く耳に入ってきます。自分の子どものころそんなことあったかな? と調べてみると、その頃はインフルエンザの予防接種をみんな学校で受けていたようですね。記憶にありませんが…。やはり大流行を抑えるには予防接種って大事なんですね。



特集 公共トイレのメンテナンス



毎年11月、全国のトイレ関係者が一堂に集まり、トイレの様々な問題について話し合われる「全国トイレシンポジウム」が開催されています。今回のかわや版では、2018年11月に開催された全国トイレシンポジウムにて、株式会社アメニティ代表の山戸伸孝が「公共トイレのメンテナンス」について発表をさせていただいた内容をお届けいたします。

日本のトイレはすばらしい

本日は「メンテナンス従事者から見た公共トイレについて」というお話をさせていただきます。まず、最近の日本のトイレは素晴らしいと思います。仕事で海外に行くこともありますが、どこの国に行っても、こんなにトイレがきれいな国はないと実感します。



▲日本のトイレ

本当にすばらしい日本のトイレですが、反面、メンテナンスが難しくなっています。そこには「多機能化」「節水化」「乾式化」「高気密化」という4つの理由があります。それぞれを詳しくご説明しましょう。

トイレの多機能化

1つ目は、多機能化です。もうトイレは、単純に用を足すだけの場所ではありません。多機能化が進むと、



▲温水洗浄便座のお尻洗浄ノズル



▲温水洗浄便座のリモコン

ノズルそうじボタン

それに伴い、メンテナンスの難度が高くなります。多機能化の一番わかりやすい例は、温水洗浄便座の「ノズル」です。温水洗浄便座は、一見、きれいな印象がありますが、菌の発育する3要素、「温度」「水分」「栄養」があるため、メンテナンスしないとおしりを洗浄するノズルもとても不潔になります。ノズルを洗浄するには、「ノズル洗浄ボタン」を押してノズルを出しますが、そのことを知らないメンテナンス従事者が多く見受けられます。「ノズル」も難しいですが、「脱

節水化

2つ目は、節水化です。水資源を大切にする姿勢は大切ですが、洗浄水量が少なくなるという事は、汚れの洗浄・搬送能力が低くなります。従来、1回あたり4リットル流れていた小便器の洗浄水量が、今では1〜2リットル程度になっています。水資源保護の観点から

すると良い事です。メンテナンスの観点に立つと真逆になります。つまり「汚れが残しやすい」という事です。

男性のおしっこは、実は横にも縦にも飛び跳ねています。小便器の水が流れ出る「スプレッダー」という場所には水がかからない箇所があるため、尿石が固着してしまいます。



▲小便器



▲小便器のスプレッター部

また、水量が減ると、当然、汚れが流れにくくなり、排水管に滞留します。そして滞留した汚れが、化学変化し固化化していきます。これを除去するためには尿石除去剤を投入し、尿石を溶かし電動ワイヤーを使用して、物理的に尿石を削り取る作業が必要になります。

[2ページに続く →](#)

あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル 0120-57-1110

ワイヤーを引き上げると、大量の陰毛に尿石が付着しています。節水で水を絞ったため、排水管で陰毛が流れず、排水管の中に、「毛だまり」ができます。その「毛だまり」を中心に、微生物がバイオフィルムを形成し、最後に尿石を構成してしまいます。



▲小便器排水管内に尿石除去剤を投入



▲小便器排水管内に尿石除去剤を投入



▲電動ワイヤーで尿石を物理的に除去



▲小便器排水管内の毛だまり

乾式清掃

3つ目は、乾式化です。昔は、水を流す「湿式清掃」が主流でしたが、最近は、水を流さず維持する「乾式清掃」が主流です。白い御影石を床材に使った小便器では、小便器の周りが黒ず

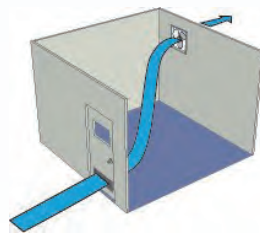


▲小便器周辺の床の変色

んでいるのがわかります。男性の尿はこのように床に飛び散っています。乾式清掃では、このようなこぼれた尿を、モップを使い拭きあげますが、言い方を変え、と、「尿を薄く伸ばしている」とも言えます。このため、ニオイがほのかに残り続けます。

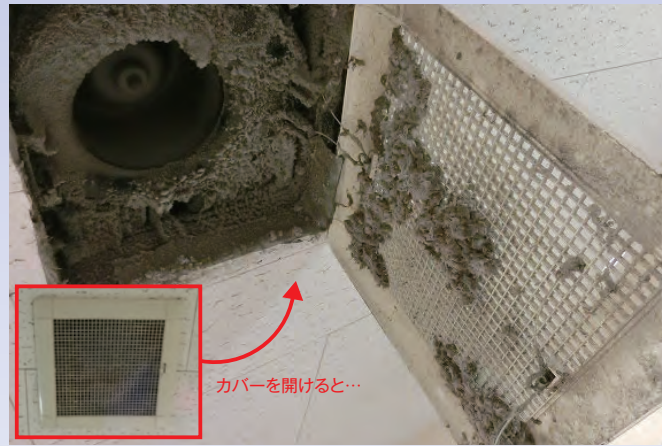
建物の高気密化

最後は高気密化です。昔の建物は風が吹いたら建物の中にもすきま風が通りましたが、今の建物は気密性が高くなっています。そのような時に大事になってくるのは、「換気」です。不特定多数の方が使用される場合、1時間あたり部屋の空気が10回～15回入れ替わるのが適切といわれています。しかし、実測してみると、2～3回のところがほとんどです。0回、または埃が詰まって逆流しているところもあります。気密性の高い室内では換気が正常に機能しなければ、ニオイはトイレ内に存在し続けることになります。



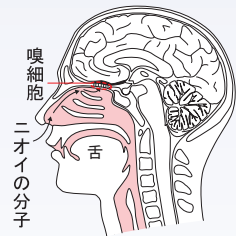
トイレを臭わなくするには？

人の鼻には、左右合わせて10円玉くらいの大きさの嗅細胞という細胞があります。この嗅細胞に、ニオイ分子が付着することで、人



▲埃が詰まって機能していない換気扇

はニオイを感じます。人の鼻は、とても精巧にできていて、ニオイを分子単位で嗅ぎ分けます。このメカニズムがわかると、逆のこともわかります。つまり、ニオイを感じさせないという事は、「嗅細胞にニオイ分子をつけない」という事になります。このメカニズムを踏まえて考えると、消臭の原則が見えてきます。

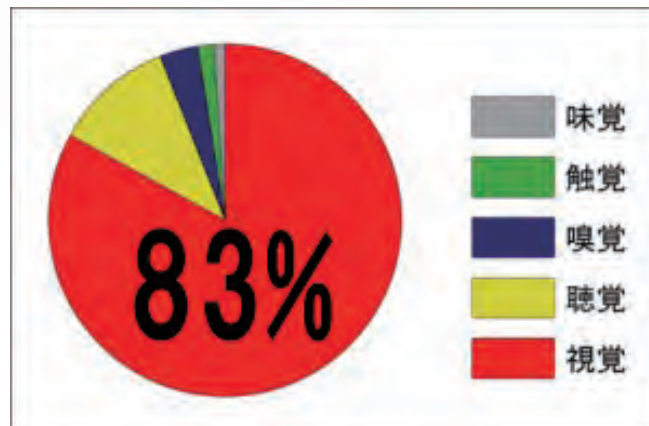


- 1、ニオイの原因物をつけない。例えば、尿石をつけない。汚れをつけない。
- 2、ニオイを外に排出する。換気でニオイを外に出す。こぼれた尿を水で流す。
- 3、それでもだめなら、ニオイ分子をニオワナイ分子に変質させる。

世の中には、化学物質が約200万種類あると言われていて、その内、ニオイがある化学物質は約40万種類です。ニオイ分子に、何かの物質を接触させて、ニオワナイ分子に変質させる方法があります。

また、人は、「快適さ」を五感を使って把握します。人は圧倒的に視覚から情報を得ています。ですので、「便器が尿石で汚れている」とか「床が黒ずんでいる」というのは大きく印象を損ないます。また、「石鹼容器があるのに故障している」「シールのはがし後が汚い」なども利用者の印象を大きく変えます。快適トイレは、1つ1つ、不快要素を消すことで作ることができます。公共であっても、民間であってもこの事実は変わりません。

本日の発表を皆さんの快適トイレ創造にお役立っていたければ幸いです。



▲脳が受ける五感からの情報量

文献に学ぶ「トイレ文化」

このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献をご紹介致します。

第27回 絵解き世界のおもしろトイレ事情

ヨーロッパ編

前回からのつづき

著者の西岡秀夫先生が世界各国のトイレトーパーを集めるきっかけとなった出来事とは・・・。

フランス

◇ハترون紙のトイレトーパー

わたしが生まれて初めて花の都パリを訪れたのは、1966年のことだった。日本の一流大学から選ばれた男女学生を引率して、ロンドン大学で開催された青少年科学会議に出席の途中であった。パリのホテルとしては二流の上ぐらいのところであったが、トイレに入ったら、そこに備え付けてあったロールペーパーの色が白くない。茶色なのに驚いた。しかも、ハترون紙なので、ゴウゴウして肌触りが悪くて、両手でもむと、パリパリと音がする。さすがパリ、と二度びっくり。フランスは世界的ファッションの中心地である。しかも、素晴らしい香水の産地でもある。それだけに、こうしたイメージから全く程遠いトイレトーパーを目前にして、私は考え込んでしまった。日頃から若い学生たちには、物事は固定観念や既成概念にとらわれてはいけな、と強調していたわたし自身が、頭から驚かされてしまった。

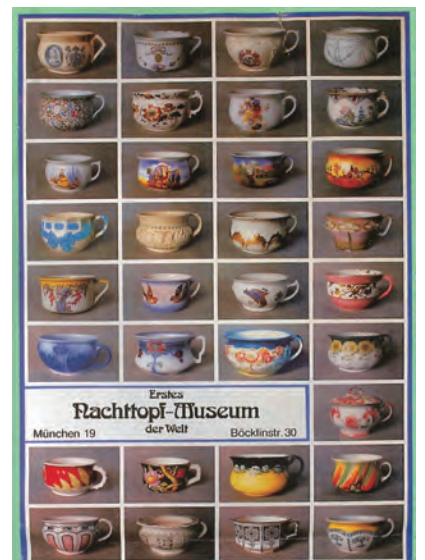
そこでわたしは念のため、翌日、わたしたちの懐具合では絶対に泊まらないパリで最高級のホテルに立ち寄り、ロビーを突き抜けてトイレだけ拝借してみた。すると、そこに備え付けの紙も、全く前者と同じ茶色のハترون紙だった。幅も同じ11センチ。



▲シャモニーの公共トイレの巨大なトイレトーパー



▲パリの公共トイレ



▲ヨーロッパの貴婦人が使った、実はおまる! コーヒーカップと見紛うような美しさ! ミュンヘンの美術館にて



【出典】 絵解き世界のおもしろトイレ事情
(巻頭、145頁～148頁より転載)
発行所：日地出版
著 者：西岡秀雄
発 行：平成10年10月